

No.	002	—	1001	事務事業名	交通安全対策事業			細事務事業名				公的関与	4	
PLAN	課名	危機管理室		係名	危機管理係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp			
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・補助等		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実			主要施策	(2)交通安全意識の高揚			
	事業の対象	市民					根拠法令							
	事業の目的	最終的	交通安全は、国民、県民、市民全員の願いであり、これをあらゆる角度から啓発し、交通安全対策を図ります。					今年度						
	活動内容	①	交通安全指導員による街頭啓発活動及び交通安全教室					④						
		②	松山南交通安全協会支部による街頭啓発活動及び交通安全講習会の実施					⑤						
		③	高速道路交通安全協議会による交通安全啓発											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		街頭啓発	春・秋・年末の交通安全週間等での安全啓発運動			回	目標	30	30	30	30			
				実績	30	30								
交通安全県民大会		交通安全県民大会の出席率			名	目標	50	50		50				
						実績	37	44						
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務					費	
	直接事業費			平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源		55 千円	55 千円	55 千円								
		一般財源		5,052 千円	5,350 千円	5,400 千円								
		計(A)		5,107 千円	5,405 千円	5,455 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.463 人	3,498 千円	0.528 人	3,980 千円	0.528 人	3,903 千円						
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.242 人	412 千円	0.242 人	407 千円						
	全体事業費(A+B)		8,605 千円		9,797 千円		9,765 千円							
一次評価者	危機管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	現状維持	
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)													
必要性	交通安全対策は行政の責務であり、県関係機関と連携した事業を展開する必要があります。													
有効性	公共にしかできない事業であり、事業内容も適切であります。													
達成度	平成22年度も交通死亡事故は1件で、交通安全対策は概ね達成されていますが、住民ニーズを熟知し、事業展開する必要があります。													
効率性	適切なコストで実施しています。													
当面の課題	必要な事業であり、常に内容を見直し、時代に即した住民ニーズを取り込んだ活動が必要です。													
改訂計画	東温市交通安全計画等の策定を行います。													
二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	東温市交通安全計画を早期に策定し、それに沿った事業の展開が必要です。													

No.	002	—	1009	事務事業名	高齢者交通安全指導事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	危機管理室	係名	危機管理係	電話番号	089-964-4400	メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	20年度～23年度 <input type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実		主要施策	(2)交通安全意識の高揚				
	事業の対象	市内に住所を有する75歳から89歳の者				根拠法令							
	事業の目的	最終的	高齢者交通死亡事故減少への取り組みとして、専門の指導員が高齢者世帯を訪問し、交通事故防止の助言及び啓発グッズ等の配布を行い、本市から高齢者交通死亡事故をなくします。併せて防災対策の指導も行います。			今年度							
	活動内容	①	交通安全アンケートの実施			④	交通危険箇所の情報聴取						
		②	交通安全に関する資料の配布と説明			⑤	防災対策に関する指導、避難場所の確認						
		③	反射材の配布、張付及び交通相談										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標			
		啓発に係る理解度		アンケート回答率から見る住民理解度		%	目標	100	100	100	100		
					実績	91	96						
					目標								
					実績								
					目標								
					実績								
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	総務			費				
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	2,352千円	2,898千円	3,030千円								
	計(A)	2,352千円	2,898千円	3,030千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.050人 378千円	0.057人 430千円	0.078人 577千円								
		臨時職員工数・経費	2.000人 3,422千円	2.022人 3,441千円	4.000人 6,720千円								
	全体事業費(A+B)		6,152千円	6,769千円	10,327千円								
一次評価者	危機管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	自助の観点からも、必要な事業と考えます。交通のみではなく、防災・防犯を含め指導していく必要があります。												
有効性	事業開始後から、死亡事故者数が減少していることから、事業は有効であると考えます。												
達成度	アンケートの回収率から見ても、事業への理解度も高く、概ね良好な状況で推移しています。												
効率性	交通・防犯・防災等、より総合的な高齢者指導の実施を検討します。												
当面の課題	平成22年度から、対象世帯の2回目の訪問を開始しました。訪問時に配布するチラシ等の工夫、アンケートの内容検討が必要です。												
改訂計画	訪問によるアンケートの結果や交通事故の状況を把握し、年次計画に反映させる必要があります。												
二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	平成23年度は、2人アドバイザーを追加採用しましたので、訪問する周期を短くし、アドバイスする項目も増やすなど、より事業の充実を図ってください。												

No.	002	—	1010	事務事業名	交通安全施設整備事業			細事務事業名				公的関与	4
PLAN	課名	危機管理室		係名	危機管理係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	経常的事務事業			事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	20年度～年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし		
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実			主要施策	(3)交通安全施設等の整備		
	事業の対象	市民、市内全域						根拠法令					
	事業の目的	最終的	交通安全への具体的な取り組みとして、カーブミラー及びガードレールの整備を順次行い、市民が安心して安全に暮らせる環境を整備します。					今年度					
	活動内容	①	カーブミラーの修繕・設置					④					
		②	ガードレールの整備					⑤					
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標	
		カーブミラー新設箇所数		地元要望を基に調査し、必要数を翌年度予算化。				箇所	目標	23	30	30	30
ガードレール新設延長		地元要望を基に調査し、必要数を翌年度予算化。				m	目標	270	238	155	300		
							実績	41	4				
							実績	212	238				
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務					
	直接事業費	平成 21 年度決算		平成 22 年度決算		平成 23 年度予算		備考					
		国・県支出金	0千円		0千円		0千円						
		地方債	0千円		0千円		0千円						
		その他特定財源	0千円		0千円		0千円						
		一般財源	9,978千円		6,378千円		9,729千円						
	計(A)	9,978千円		6,378千円		9,729千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100人	755千円	0.114人	859千円	0.114人	843千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.076人	129千円	0.076人	128千円					
	全体事業費(A+B)	10,733千円		7,367千円		10,699千円							
一次評価者	危機管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	交通安全対策は行政の責務であり、県関係機関と連携した事業を展開する必要があります。												
有効性	道路管理担当課と類似事業があります。												
達成度	ほぼ順調に事業を達成しています。												
効率性	市全体で総合的な事業計画が必要です。												
当面の課題	交通安全対策交付金を財源に施設整備を行っていますが、道路を核とした総合的な交通安全対策を希望する意見もあります。												
改革計画	総合的な交通安全施設整備計画策定に向け検討が必要です。												
二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	市民のニーズを的確に捉え、適正な事業の推進に当たってください。												

No.	002	—	1011	事務事業名	防犯対策事業			細事務事業名				公的関与	4			
PLAN	課名	危機管理室		係名	危機管理係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営・補助等		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	7 交通安全・防犯体制の充実			主要施策	(4) 防犯意識の高揚と地域安全活動の促進					
	事業の対象	市民						根拠法令								
	事業の目的	最終的	防犯意識の高揚と地域の安全確保					今年度								
	活動内容	①	防犯等設置補助・管理					④								
		②	防犯啓発活動					⑤								
		③	松山南防犯協会運営助成													
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由				単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標				
		防犯灯設置数		地元要望により設置した数				基	目標	34	35	35	35			
							実績	41	32							
							目標									
							実績									
							目標									
							実績									
DO	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費				
	直接事業費		平成	21	年度決算	平成	22	年度決算	平成	23	年度予算	備考				
		国・県支出金	0		千円	0		千円	0		千円					
		地方債	0		千円	0		千円	0		千円					
		その他特定財源	145		千円	60		千円	60		千円					
		一般財源	4,556		千円	4,502		千円	4,702		千円					
		計(A)	4,701		千円	4,562		千円	4,762		千円					
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.149	人	1,126	千円	0.170	人	1,281	千円	0.170	人	1,257	千円		
		臨時職員工数・経費	0.000	人	0	千円	0.030	人	51	千円	0.030	人	50	千円		
	全体事業費(A+B)		5,827		千円	5,895		千円	6,069		千円					
一次評価者	危機管理係		総合評価点	A		必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)															
必要性	防犯意識の高揚と地域の安全確保のため必要な事業です。															
有効性	年次計画で継続する必要があります。															
達成度	事前対策を実施する事により犯罪件数の減少につながります。															
効率性	四国電力からの寄贈防犯灯を有効利用し、市・地元の負担を軽減できています。															
当面の課題	松山南防犯協会への負担額等の見直しが必要です。															
改訂計画	事業内容等、構成市町で再検討が必要です。															
二次評価者	総務課長		総合評価点	A		必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実	
二次評価での指摘事項	市民のニーズを捉えると共に、必要性を検証してください。															

No.	002	—	1014	事務事業名	防災訓練事業			細事務事業名				公的関与	4
PLAN	課名	危機管理室		係名	危機管理係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度	～	年度	<input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	6 消防・防災体制の充実			主要施策	(5) 防火・防災意識の高揚と自主防災組織等の育成		
	事業の対象	市民					根拠法令						
	事業の目的	最終的	市民の防災知識高揚のため、継続して訓練を実施する。				今年度	水防訓練の実施					
	活動内容	①	自主防災組織による訓練の実施				④	防災訓練・啓発					
		②	水防工法訓練(消防団、自主防災組織)				⑤						
		③	総合防災訓練(防災関係機関)										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
		防災訓練実施回数		総合的な防災訓練を行い、防災力の向上を目指す。			回	目標	1	1	1	1	
実績								1	1				
						目標							
						実績							
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	976 千円	546 千円	954 千円								
	計(A)	976 千円	546 千円	954 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.208 人	1,571 千円	0.237 人	1,787 千円	0.237 人	1,752 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.081 人	138 千円	0.081 人	136 千円					
	全体事業費(A+B)		2,547 千円	2,470 千円	2,842 千円								
一次評価者	危機管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	訓練を繰り返すことにより、災害発生時の対応を迅速にします。												
有効性	定期的な訓練の実施が、市民の防災意識の高揚につながっています。												
達成度	年1回の総合防災訓練の実施により市民の防災意識の高揚が図られています。今後は地区ごとに、自主防災組織による訓練を充実させていく必要があります。												
効率性	コストを抑えた訓練を実施します。												
当面の課題	全体的な総合防災訓練も重要であるが、地区の自主防災組織単位で実施する訓練のほうが指導・助言しやすく、効果的であると思われます。												
改訂計画	自主防災組織連絡会議の設置を早急に検討します。												
二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	大規模大災害に備え、消防署・消防団・自主防災組織との連携を効果的に進めるために、定期的な防災訓練の実施が必要です。												

No.	002	—	1015	事務事業名	自主防災組織育成事業	細事務事業名		公的関与	4				
PLAN	課名	危機管理室	係名	危機管理係	電話番号	089-964-4400	メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし				
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち		政策項目	6 消防・防災体制の充実		主要施策	(5) 防火・防災意識の高揚と自主防災組織等の育成				
	事業の対象	市民				根拠法令							
	事業の目的	最終的	災害時等の自助・共助意識の高揚のため、地域で自主防災組織を結成し、それぞれの立場で減災活動を実施				今年度						
	活動内容	①	自主防災組織結成に向けての出前講座				④	防災訓練・学習会等、組織育成事業					
		②	防災士資格取得支援助成事業				⑤						
		③	自主防災組織への資器材貸与										
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
		自主防災組織結成事業		全地域で組織結成を目標に活動を推進する。			%	目標 97	95	98	100		
防災士資格取得者数		各自主防災組織に最低1名の防災士を育成する。			人	目標 4	10	10	40				
						実績 84.9	91.2						
						実績 4	1						
						目標							
						実績							
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防費						
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	1,927 千円	834 千円	1,939 千円								
		計(A)	1,927 千円	834 千円	1,939 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.242 人	1,828 千円	0.276 人	2,080 千円	0.276 人	2,040 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.151 人	257 千円	0.151 人	254 千円					
	全体事業費(A+B)		3,755 千円		3,171 千円		4,233 千円						
一次評価者	危機管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	地域防災において、自助・共助の役割を担う自主防災組織の育成・強化は必要です。												
有効性	公助は、大災害発生直後の活動が困難であるため、地域を守る自主防災組織の育成・強化は重要です。												
達成度	100%の結成を目標に努力が必要です。												
効率性	防災士の育成や防災意識の普及・啓発を行い、地域防災力の強化を目指します。												
当面の課題	自主防災組織が結成されていない地域で組織結成を促進するとともに、既存組織に対しては、組織運営や訓練の実施などに助言を行い、自助の機能を強化する必要があります。												
改 革 画	自主防災組織未結成地域の解消と既存組織の強化支援を図ります。												
二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	自主防災組織結成率100%達成するため、出前講座等啓発に努めてください。また、連絡協議会結成にあたって、各自主防災組織の連携を図ってください。												

No.	002	—	1018	事務事業名	災害対策事業			細事務事業名				公的関与	4
PLAN	課名	危機管理室		係名	危機管理係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.ehime.jp		
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当	事業期間	年度 ~ 年度	<input checked="" type="checkbox"/>	期間設定なし	
	総合計画	政策目標	第1章 地球と共生する快適環境のまち			政策項目	6 消防・防災体制の充実			主要施策	(1)危機管理部門の充実		
	事業の対象	市民、市内全域					根拠法令						
	事業の目的	最終的	災害発生時の応急対策、ならびに事前に資機材及び食糧を備蓄する。				今年度						
	活動内容	①	災害発生時の応急対策				④						
		②	備蓄物資の調整				⑤						
		③											
	成果指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	平成21年度	平成22年度	平成23年度	最終目標		
		備蓄食糧(食糧)	人口比の1.33%の6日分(1日2食) 34,619人×0.04=1,385食			人分	目標	1,366	1,385	3,580	3,580		
実績			1,632	162									
備蓄飲料水		人口比の0.33%の6日分(1日1ℓ) 34,619人×0.02=693			リットル	目標	1,024	708	2,400	2,400			
		実績	708	2,400									
目標													
実績													
DO	予算費目	会計	一般会計			費目名	消防			費			
	直接事業費		平成 21 年度決算	平成 22 年度決算	平成 23 年度予算	備考							
		国・県支出金	0千円	0千円	0千円								
		地方債	0千円	0千円	0千円								
		その他特定財源	0千円	0千円	0千円								
		一般財源	22,129千円	4,762千円	6,645千円								
	計(A)	22,129千円	4,762千円	6,645千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.021人	159千円	0.100人	754千円	0.100人	739千円					
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円					
	全体事業費(A+B)		22,288千円	5,516千円	7,384千円								
一次評価者	危機管理係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	企業・団体との災害時応援協定も進んでいるが、発災時の初期対応には備蓄物資が必要であり、その整備は重要な責務です。												
有効性	備蓄物資は、市民の3~4%を基準としていましたが、大災害発生に備え、今後は備蓄量の拡充に努めます。また、消費期限が近い物資については、訓練等で有効に活用しています。												
達成度	災害発生時に備え、備蓄物の充実を図ります。												
効率性	災害時応援協定者(企業・団体)と共同し、コスト削減を目指します。												
当面の課題	災害時用資機材及び備蓄物資の充実を図る必要があります。												
改訂計画	大規模災害発生時には県基準では不足が考えられるため、災害時応援協定等を含めた市独自の基準を設定します。												
二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	大規模災害時に市民のニーズに対応できるよう、備蓄物資を質量とも充実させると共に、保管場所の状況等調査し、市民の安全安心のため、適正に運用して下さい。												